

A I の仕組み、危険学ぶ

宇土市網田中 企業の講師招き授業

網田中の生徒にA I（人工知能）について説明する伊東翼さん
16日、宇土市



A I（人工知能）の正しい使い方を考える授業が16日、宇土市下網田町の網田中であり、3年生21人が、A Iの仕組みや危険性について学習した。

網田小・中では2024年から、九州デジタルソリューションズ（熊本市）の担当者を講師に招き、情報リテラシーなどを学んでいる。

この日は公共営業部の伊東翼さん(26)が「A Iは学習した膨大なデータから結果を予測し、判断や分類をする」と仕組みを説明。最近、A Iを使った犯罪が増えていることに触れ、「A Iで作った画像をS N Sに投稿すると、悪意がなくても名誉毀損などの犯罪になる可能性がある」「ウソの情報に惑わされないようにしてほしい」と注意喚起した。

3年の宮本理史さんは「学んだことを生かして、正しく使いたい」と気を引き締めていた。

（松田嵩史）